

死刑囚表現展 2024

入場無料

風間博子「命一十式〇式四の参」

西口宗宏 植松聖 猪熊武夫 井上孝紘

2024年11月2日(土)～4日(月)

松本治一郎記念会館 5階会議室

死刑廃止のための大道寺幸子・赤堀政夫基金・死刑囚表現展

11月2日(土・13時～17時30分)

11月3日(日・11時～19時)

11月4日(月・11時～17時)

井上孝紘
猪熊武夫
植松聖
風間博子
金川一
北村孝
長勝久
東西南北
中田典広
西口宗宏
原正志
檜あすなる
何力^{アリス}
堀慶末
山田浩二

ギャラリートーク

11月2日 18時から

入場無料・先着順

栗原康

(死刑囚表現展選考委員)

松本治一郎記念会館
5階会議室
東京都中央区入船1-7-1
エレベーターで5階に上がる
地下鉄日比谷線/JR京葉線
八丁堀駅から徒歩3分



主催・死刑廃止のための大道寺幸子・赤堀政夫基金
共催・死刑廃止国際条約の批准を求める FORUM90

107-0052 東京都港区赤坂 2-14-13 港合同法律事務所気付 TEL03-3585-2331 FAX03-3585-2330

死刑廃止のための大道寺幸子・赤堀政夫基金について

生前、多くの死刑囚や獄中者に面会し、励まし、「生きて償う」ことを共に模索し、死刑囚の母として、社会、国際機関、メディアに対して、日本の死刑制度の実態、死刑囚処遇、死刑囚の人権について語り続けてきた大道寺幸子さんが2004年5月に亡くなりました。「死刑制度をなくしたい」「死刑囚の人権は保障されなければならない」という幸子さんの遺志を生かすため、遺された預金を元に、基金が創設され、死刑囚の再審請求等への補助金、死刑囚の表現展の開催と優秀作品の顕彰のために使われてきました。当初の予定だった10年が過ぎましたが、冤罪事件の元死刑囚赤堀政夫さんからも資金提供の申し出があり、2015年からは「大道寺幸子・赤堀政夫基金」として再出発しています。「死刑囚の表現展」へ応募された文芸作品は何冊も出版され、絵画作品は全国各地の展示会で紹介され注目を集めてきました。海外でも2022年1月から12月末までパリのアル・サンピエールで展示され多くの人に見ていただきました。私たちは毎年「響かせあおう死刑廃止の声」の集会で、その年の応募作品の講評や展示が行なってきましたが、スペースの関係で全点展示は出来ません。多くの人に見ていただきたいとの思いから、今年も2024年度の全応募絵画作品を松本治一郎記念会館で3日間、展示します。ぜひ、ご来場ください。

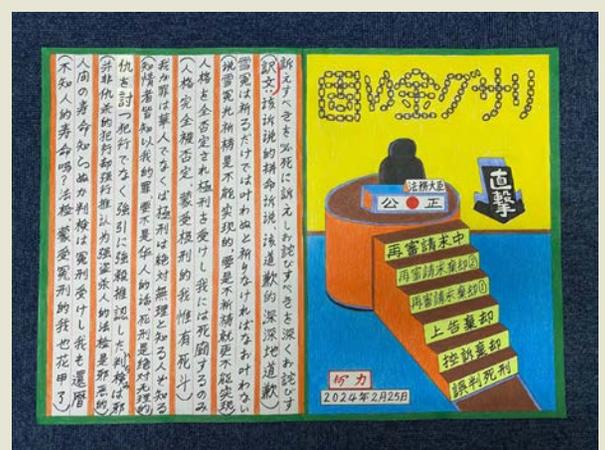
表現展選考委員＝小田原のどか／香山リカ／川村湊／北川フラム／栗原康／五所純子／太田昌国



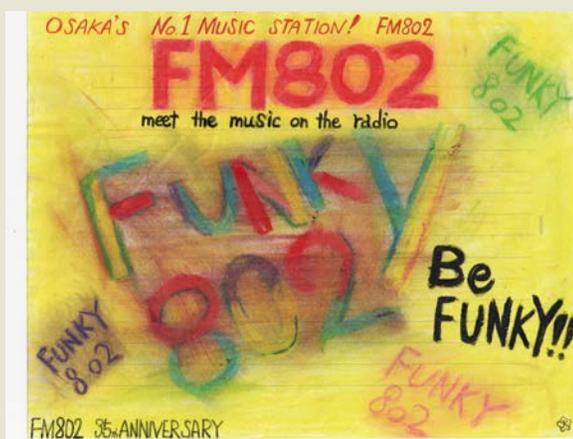
①



②



③



④



⑤



⑥

展示作品から ①井上孝紘「南総里見八犬伝 伏姫と武敷八房ノ図 (23年入場者のリクエストに答えて)」 ②堀慶末「飛雲閣の陰影」 ③何力「死闘するのみ」 ④山田浩二「Be FUNKY!! ~ OSAKA'S no.1 MUSIC STATION! FM802 ~」 ⑤金川一「今の自画像 75才」 ⑥西口宗宏「日日は“辛”日・合掌」